

再 評 価 調 査 書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 名古屋第3環状線（前ヶ須工区）					
事業箇所	弥富市前ヶ須町地内					
事業のあらまし	<p>都市計画道路 名古屋第3環状線は、海部地域を南北に縦貫する延長約 19.6km の主要幹線道路であり、国道1号、国道23号及び伊勢湾岸自動車道を結ぶ環状機能を有し、生活・産業を支える重要な路線である。</p> <p>本事業区間は、尾張西部地域と名古屋港の物流エリアを結ぶ重要な区間で、弥富市の中心市街地であり、近鉄弥富駅へのアクセス路や小学校の通学路としても利用されているため、整備が求められている。</p> <p>また、本事業区間は、津波等の災害時には、海拔ゼロメートル地帯を有する海部地域における円滑な復旧活動の基幹となるため、第一次緊急輸送道路に位置づけられる予定である。</p> <p>このため、「市街地整備の推進」、「交通安全対策の強化」、「緊急輸送道路の整備」を主な目的として、道路整備を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 地域の活性化（市街地整備の推進）</p> <p>② 交通事故対策（交通安全対策の強化）</p> <p>③ 地震・津波対策（緊急輸送道路の整備）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2017年度)	再評価時 (1回目) (2022年度)	再評価時 (2回目) (2024年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2018～2024	2018～2024	2018～2032	用地交渉の難航	
	事業費(億円)	11.0	11.0	14.7		
	経費内訳	工事費	4.0	4.0	5.0	資材価格及び労務費の増加(+1.0億円)
		用補費	6.0	6.0	8.2	物件調査結果に基づく用補費の増額(+2.2億円)
その他		1.0	1.0	1.5	労務費の増加(+0.5億円)	
事業内容	道路整備 延長 440m 幅員 23m 4車線	道路整備 延長 440m 幅員 23m 4車線	道路整備 延長 440m 幅員 23m 4車線			
II 評価						

①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>①市街地整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥富市の中心市街地であることから名古屋第3環状線における尾張西部地域と名古屋港の物流エリアを結ぶ重要な路線に位置付けられている。 <p>②交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道が通学路として利用されていることから円滑な交通の確保や歩行者と自動車の分離による安全確保が求められている。 <p>③緊急輸送道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路に位置付けられる予定であり、大規模災害時等に円滑な救援・復旧活動を行うため、主要施設等へのアクセス性を高める必要がある。 <p>【再評価時（1回目）の状況】</p> <p>①市街地整備の推進、②交通安全対策の強化、③緊急輸送道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性は変わらない。 <p>【再評価時（2回目）の状況】</p> <p>①市街地整備の推進、②交通安全対策の強化、③緊急輸送道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性は変わらない。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな変動要因はない。 																																																																																																																																														
	判定	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地整備の推進、交通安全対策の強化、緊急輸送道路の整備の観点から、事業の必要性は依然として高いため。 																																																																																																																																														
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2018</th> <th>2019 ~ 2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>2032</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td></td> <td>9.0</td> <td>2.0</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>7.0</td> <td>/</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td> <td>7.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>14.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.5</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>11.0</td> <td>7.0</td> <td>64%</td> <td>14.7</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>4.0</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>5.0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>6.0</td> <td>5.8</td> <td>97%</td> <td>8.2</td> <td>71%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>120%</td> <td>1.5</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>			2018	2019 ~ 2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	合計	工種 区分	調査・設計	←													用地補償		←												工事								←					→	事業費 (億円)	前回計画		9.0	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	11.0	実績		7.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7.0	今回計画		7.0						7.7					14.7		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	0.5	0	0%	0.5	0%	事業費(億円)	11.0	7.0	64%	14.7	48%	工事費	4.0	0	0%	5.0	0%	用補費	6.0	5.8	97%	8.2	71%	その他	1.0	1.2	120%	1.5	80%
			2018	2019 ~ 2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	合計																																																																																																																																	
工種 区分	調査・設計	←																																																																																																																																														
	用地補償		←																																																																																																																																													
	工事								←					→																																																																																																																																		
事業費 (億円)	前回計画		9.0	2.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	11.0																																																																																																																																		
	実績		7.0	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7.0																																																																																																																																		
	今回計画		7.0						7.7					14.7																																																																																																																																		
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																												
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																																											
延長(km)	0.5	0	0%	0.5	0%																																																																																																																																											
事業費(億円)	11.0	7.0	64%	14.7	48%																																																																																																																																											
工事費	4.0	0	0%	5.0	0%																																																																																																																																											
用補費	6.0	5.8	97%	8.2	71%																																																																																																																																											
その他	1.0	1.2	120%	1.5	80%																																																																																																																																											

	<p>※用地取得率（面積ベース）は約 86%</p> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無し
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・一部地権者と補償内容等について調整が難航し、用地買収に時間を要している。
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収が一部未完了であるが、一定の期間を要すれば用地買収できる見通しであり、大きな阻害要因はない。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得等の必要があるものの、一定期間を要すれば解決できる見込み。
判定	<p>B</p> <p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定の期間等を要すれば解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。
III 対応方針	
継続	<p>中止：上記①～②の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>旅行速度、交通量、安全性の改善状況（アンケート調査等）</p>	